



### 「体育館の絵の紹介」

赤江小学校の体育館には、入り口に大きな絵が展示してあります。

この絵は、体育館ができたときに、赤江小学校の卒業生で、今も赤江地区にお住いの山崎道弘さんが寄贈してくださったものです。

山崎さんにこの絵についてインタビューさせていただきました。

○この絵について紹介してください。

私は、何をどこに描いたら良いのか、画面をどこで区切れば良いのかなどの画面構成の研究をしてきました。

そのため、あまり説明がつかない形がたくさん入っていて「何が描いてあるの？」という質問を受けたことがあります。答えはありません。

○赤江小学校の子どもたちへ

思ったことや感じたことをいろと形で表すたのしさを、また、私たちの周りには、奥行きのある空間で満たされていることを絵に表してほしいと思っています。

（現在、絵は加納美術館に貸し出し中です）



絵の題は「窓辺」です

### 「赤江小学校の思い出」

本校で4週間教育実習をした卒業生の安達ひまりさん。「小学校時代の心に残る思い出と言えば、やはり児童交流です。」とのことでした。大阪を訪れ白鳥小の友達にはじめて会ったときは、交流の相手が、安達さん一人に対して白鳥小は三人いて、さらに白鳥小の友達には保護者の方もついてきておられたため、大勢に囲まれた感じがしてとても緊張したそうです。そんな緊張の中でスタートした交流でしたが、気が付けば「あれ？」と思うくらい打ち解けて、とても楽しい交流の時間を過ごしたそうです。

交流相手の友達とは中学卒業くらいまで文通を続け、今も Twitter をフォローしているそうです。教育実習中も児童交流の記念にもらった「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群」のクリアファイルを使用していました。



## 開校 150 年事業の取組（ステージ幕の披露）



11月5日に開催された赤江地区文化祭で二岡PTA会長と加藤実行委員長が、地域の皆様に挨拶をし、その中でステージ幕の披露をしました。また、文化祭に開校150年に関連する展示をしました。



学習発表会（11月13日）では、午前中に児童向け、午後は保護者向けの開校150年ミニ式典を開催しました。児童向け式典では、児童の記念作品の表彰を行いました。保護者向け式典では、二岡PTA会長、加藤実行委員長に挨拶をいただき、赤江小の歴史を振り返る動画の上映も行いました。